



# 三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

テーマ

## 三重中央より「はじめまして」

## 着任したドクターたち



### 「地域に生き、地域と生きる 三重中央医療センター」

三重中央医療センター 院長 霜坂辰一

はじめまして、霜坂です。4月1日に院長職を拝命いたしました。歴代院長が営々と築きあげた当院の伝統を引き継ぐことに身が引き締まる思いで、最初の一步を踏み出したところです。

国立津病院と国立清澄病院が統合され、当地に国立三重中央病院として開院して18年が経ちました。途中、「国立病院」が「独立行政法人」となり三重中央医療センターに名称変更しています。当院はいまでも開院時の美しい威容を誇っております。それぞれの病院の立地場所を移し統合することは地元の理解を得る必要がある難事業

で、立派な当院が建設された背景には、地元の皆様の大きな期待がかかっていたと思います。

18年の経過で社会情勢も変わりました。いままでは、病院に入院したら元気に家で生活できるまで入院生活を送る、という考え方でした。しかし、これでは、これからの超高齢化社会を考えると、なかなか社会に復帰できない高齢者で病院が満杯になるという構図が見えてきました。病院完結型医療の考え方に限界が見えてきたのです。病院は地域に生き、医療・介護は地域全体で支える、という流れが動き出しました。これが地域完結型の

医療です。この地域の医療、介護を名古屋や東京から人が来て助けてくれる、ということはありません。この地域の人たちは、この地域の人々が主体となった、この地域で利用できる医療・介護資源を利用して、住み慣れた当地で人生を充実して生ききる覚悟が必要です。当院も、この地域の基幹病院として「地域に生き、地域と生きる」覚悟を改めて明確に意識しました。

2年前に公布された「医療・介護総合確保推進法」がその法的基盤です。地域における医療と介護の総合的な確保を推進することが謳われています。

病院もその性格を明確に表明しないといけない時代です。当院は脳や心臓疾患、医療の手助けが必要な妊婦さんや新生児など重症患者さんを受け入れる高度急性期機能や、がん、糖尿病、高齢者の肺炎、骨折など、今後も急病として増加し、入院して手術、治療が必要な患者さんに対する急性期機能を担うことを病院の使命とします。そのため救急受け入れ機能を強化していきます（いまでも1日10台以上、年間3700台以上の救急車が当

院に患者さんを搬送してきます。もちろん津地域では断トツで1番救急搬送されてくる病院です）。

同時に、急性期状態が安定した患者さんは回復期病院や療養病床、あるいは在宅、介護施設に移って療養を継続して、社会復帰を目指していきます。このように、地域全体で1人の患者さんの病気、生活を支えるシステムが「地域包括ケア」という考え方です。もちろん、不幸にして病気が再燃した場合はすぐに当院に戻り、急性期治療を行います。

このように、今後の医療・介護は地域全体が一体となって、それぞれ連絡を取り合い、情報交換を密にしながらそれぞれの役割を果たしていく、そして、この地域の人々が安心して、この地で老後も暮らしていけるようにすることがテーマです。

当院が「地域に生き、地域と生きる」という明確な目標を再認識し、その目標に邁進していく覚悟を決めた所以です。

今後とも当院が地域の誇りとなる病院になれますように応援、ご支持をお願いする次第です。



こんにちは。この4月1日より三重中央医療センター心臓血管外科に赴任しました浦田康久と申します。津市で生まれ育ち、高田中高等学校を卒業して、大学は鳥取大学に進学しました。その後、大学+就職と山陰地方で20年間暮らしましたが、この度ふるさとに戻って参りました。久しぶりの故郷は懐かしい景色を残しながらも、かなり変わってしまい、浦島太郎状態です（先日も自宅に帰るつもりが松阪市に着いていました・・・）。これから少しずつ慣れていき、故郷の医療に貢献したいと思います。

これまでは島根県浜田市にある浜田医療センターで心臓血管外科医として働いていました。そこでは一般的な心臓血管領域の手術に加え、大動脈瘤に対するステントグラフト内捜術や末梢動脈に対する血管内治療も行っていましたので、ここでもその経験を活かして、お役に立てれば幸いです。（漁師町だったので魚も捌けるようになりました）。

慣れるまでに少し御迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯がんばりますので何卒よろしくお願ひします。



心臓血管外科  
浦田 康久

私は今回三重中央医療センター 脳神経外科に赴任した田中克浩です。卒後15年目の春を迎えましたが、これまで県内外の施設で脳神経外科診療に従事してきました。脳血管障害の治療経験が多いですが、その中で脳神経外科専門医・指導医（脳神経外科診療全般）、脳神経血管内治療専門医（カテーテル治療）、脳卒中専門医（脳卒中診療）、神経内視鏡技術認定医（内視鏡による低侵襲診断・治療）を取得しました。今回赴任した三重中央医療センターは脳神経疾患全般（脳血管障害、脳腫瘍、脊椎・脊髄疾患、外傷、先天性疾患、神経痛など）に対し迅速・柔軟な対応を行っています。加えて霜坂院長・石田部長のもと脳動脈瘤を中心に「数値流体力学（CFD）を用いた解析」など先進的研究も推進しており、臨床と研究を両輪としてアクティブな診療活動を行っています。これは日頃の研究成果が、短中期的に還元される点で、患者・医療従事者双方にとって非常に有益な環境と考えます。また脳梗塞急性期治療に関しても、t-PA静注療法・血栓回収療法を積極的に行っていく予定です。今後ますます需要が高まる迅速で専門性の高い診療を遂行できるよう、微力ながら尽力させて頂く所存です。よろしくお願ひ致します。



脳神経外科  
田中 克浩

4月1日より消化器内科に勤務しております北出と申します。私は一志町出身であり、現在も一志町より通勤しております。出身大学は自治医大（平成15年卒）であり、卒業後は三重県内の病院勤務や栃木県にある自治医大附属病院での臨床研修を経験して参りました。

今年の3月まで3年間、三重大学医学部附属病院 光学医療診療部に勤務させて頂き、消化器内視鏡中心の仕事をしておりました。疾患としては炎症性腸疾患に興味があります。

当センターに勤務させて頂くにあたり、自分の覚悟を述べたいと思います。地元出身・地元代表として、皆様から頼りにして頂ける医師を目指します。患者様には、分かりやすい説明と質の良い医療の提供を心がけて参ります。消化器内科医としては、内視鏡検査のみではなく、CTなど他の検査も多用して消化器疾患の画像診断を極めていきたいです。私は熱くなりすぎる性格ですが、慢心・過信する事なく、他の職員の方々と協調して歩んで参ります。

地元で恥をかくわけには参りません。ラグビー日本代表ルーク・トンブソン選手の如く、馬車馬のように働けるようになりたいです。

皆様、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



消化器内科  
北出 卓



循環器内科  
武内 哲史郎

2016年4月1日に三重中央医療センター循環器内科に赴任いたしました武内哲史郎と申します。津市出身で2007年に三重大学を卒業し済生会松阪総合病院で初期研修を行い、各病院での勤務のうちに2013年4月から三重大学循環器内科で大学院生として3年の研究生活を送ってまいりました。糖尿病と心疾患の関連について臨床研究を行いながら、病棟業務にも継続して携わっており主に心不全、虚血性心疾患にかかわってまいりました。

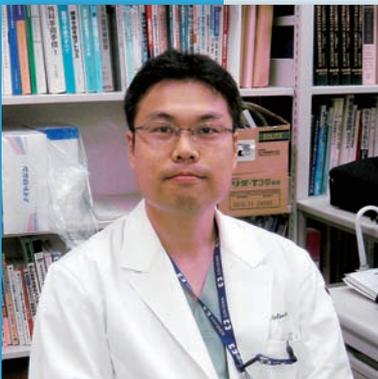
今後、生活習慣の欧米化に伴う虚血性心疾患の増加に加え、さらなる高齢化社会に伴って心不全患者の増加が予想されております。生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症、禁煙指導、高尿酸血症等）の管理・予防に加え、心不全、弁膜症、虚血性心疾患、不整脈など積極的に関わっていきたいと思います。また糖尿病関連の研究を行っていた中で、糖尿病治療の未熟さも感じ、さらに糖尿病治療についても研鑽を積みたく思います。

今後も地域の病院や診療所の先生方と連携し、患者様の治療により貢献出来る様に日々努力してまいります。どうぞよろしく申し上げます。



整形外科  
中西 巧也

平成28年4月1日より三重中央医療センター整形外科に赴任させていただきました中西巧也と申します。伊勢市出身で伊勢高校を卒業後、平成21年に三重大学を卒業しました。これまで市立伊勢総合病院、伊勢赤十字病院、三重大学整形外科などで勤務させて頂き、外傷を中心に整形外科領域の診療を行って参りました。近況としましては、昨年整形外科専門医試験の受験資格を満たすことができ、平成28年1月に実施された試験に無事合格致しました。これまで御指導して頂いた先生方には感謝申し上げます。これからは専門医としての自覚を持ち、より良い医療を提供できるように頑張りたいと思います。第一の目標であった専門医となることが出来ましたが、整形外科医として最低限のレベルに到達したに過ぎず、まだまだ勉強していかなければならないと考えています。また、日常業務に関してはまだまだ不慣れな点が多く、スタッフの方々には御迷惑をお掛けしていますが、早く慣れてお役に立てるよう頑張ります。何卒よろしくお願い致します。



外科  
松田 明敏

2016年4月から三重中央医療センター、外科に赴任させていただきました、松田明敏と申します。

松阪市の出身で、三重大学医学部を2005年に卒業しました。松阪中央病院で2年間の研修を行った後、三重大学肝胆膵・移植外科に入局。そのまま松阪中央総合病院で外科医として勤務し、尾鷲総合病院を経て、三重大学の博士課程に入学しました。基礎実験でマウスの肝臓と格闘して、どうにか博士課程を修了することができ、三重大学附属病院肝胆膵・移植外科での臨床、附属病院ICU勤務を経験し、この度こちらにお世話になることになりました。

高校、大学時代にはバスケットボールに明け暮れておりましたが、最近はめっきり体を動かすことも少なくなってしまう、楽しみのためだけでなく、体のために運動を始めようと考えているところです。

しばらく外科臨床を離れていた時期もあり、赴任したばかりで不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、当院と地域の医療のために、微力ながら貢献できるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

初めまして、脳神経外科に赴任した辻正範と申します。自分は自治医科大学を卒業したため、卒後9年目までは地域医療に従事する義務があります。現在は卒後8年目の医師ですが、これまでの4年間は三重県の南端の熊野にある紀南病院で内科医師として勤務しておりました。今年1年間は志望科で研修ができるため、三重中央医療センターで働かせて頂くことになりました。

脳神経外科の臨床から遠く離れた僻地でも脳神経外科の研究に関われるように、自治医科大学の先輩である当科石田先生の計らいで内科業務の傍ら、世界でも最先端の研究である脳動脈瘤の数値流体解析(Computational Fluid Dynamics: CFD)を続けてきました。内科医であることは伏せつつ、脳神経外科の全国学会や海外の学会で発表する機会もありました。動脈瘤の形成や増大、破裂メカニズムについて学ばせて頂き、熊野の地で動脈瘤に対する興味を沸々と湧かせていました。脳神経外科に直接携わる機会が少なかった分、知識としては劣る部分はあると思いますが、学生時代にラグビーで培った泥臭さ(社会に出てからは清潔感を心がけていますが)、忍耐力には自信があります。田舎で溜まりに溜まった脳神経外科の臨床現場への興味をこの1年間にぶつけたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。



脳神経外科  
辻 正範



独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター



入場無料

日時：5月12日(木) 10時～14時  
場所：三重中央医療センター  
2F地域医療研修センター

テーマ 『知ってもらいたい！ 私たちの看護』

### 自分の身体を知ろう！

- ★健康チェック
- ★バイキン退治！  
正しい手の洗い方
- ★看護相談



### 看護部紹介 ポスター展示

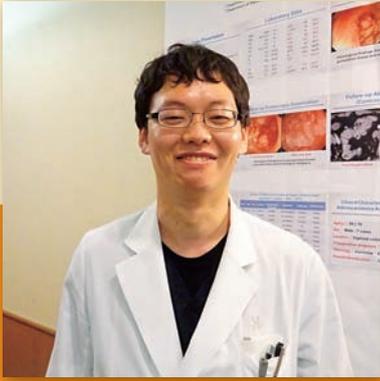
当院の看護をご覧ください!!



### 市民公開講座開催

13:30～14:00  
『健康なからだと生活習慣』

※内容は、予告なしに変更することがあります。



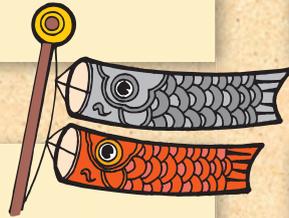
神経内科  
かもん  
**掃部 俊貴**

この度2年間の初期研修が終了し、神経内科医を目指して引き続き三重中央医療センターで勤務させていただくこととなりました。初期研修の2年間は様々な経験を積ませていただき、大変有意義な研修をさせていただくことができました。今後さらなる精進を重ねていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



脳神経外科  
**岸本 智之**

はじめまして、4月より三重中央医療センターに赴任した岸本 智之と申します。  
私は三重大学を卒業後、大阪府の岸和田徳洲会病院で研修し、今年度より脳神経外科医として多くの経験を積もうとやってきました。  
至らぬことも多々ありますが、「三重県に来て良かった」と、また多くの患者様から「三重県に来てくれて良かった」と思われるよう頑張りたいと思います。  
フットワークよく一生懸命に努めますので、何とぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科  
**西村 正**

呼吸器内科に配属となりました西村正と申します。出身は津市で、中学・高校は鈴鹿へ通ってまいりました。大学は三重大学で、初期研修は三重中央医療センターで2年間手厚い教育を受けさせていただきました。生まれも育ちも津市で、津市の医療の一旦を担えたらと思います。皆様ご指導およびご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



内科  
**渡辺 麻衣子**

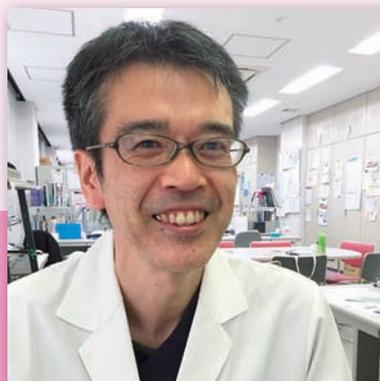
初めまして、渡辺麻衣子と申します。三重大学医学部附属病院で2年間の初期研修を修了し、4月から3年目医師として糖尿病を中心に内科を勉強させて頂きたいと思っております。まだまだ至らないところばかりですが、憧れの先生方のようになれるよう日々頑張りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。





研修医  
**有川 茂雄**

はじめまして。研修医一年の有川茂雄と申します。三重大学出身です。生まれは福岡県北九州市ですが、引っ越しが多く東京より西の西日本育ちで、特に九州と関西に詳しいです。将来は小児科医または内科医を志望しています。ご面倒をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。



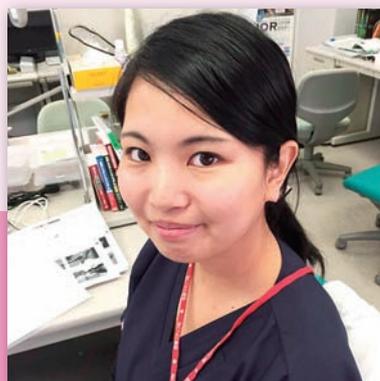
研修医  
**大賀 天弘**

はじめまして。本年度より三重中央医療センターで研修をさせて頂く、大賀天弘と申します。出身大学は熊本大学で、育ったのは三重県の玉城町です。趣味は熱帯の植物を育てることです。医師として地域の方々に少しでも喜んで頂ける様全力で頑張っていますので、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いたします。



研修医  
**中島 悠貴**

4月から三重中央医療センターさんの方で初期臨床研修をさせて頂くことになりました中島悠貴と申します。出身は三重県の鈴鹿市で出身大学は三重大学です。将来は、内科医となり三重県の地域医療に貢献したいと考えております。至らない点が多々あるかと思いますが、ご指導賜りますようお願いいたします



研修医  
**森 茉莉**

初めまして、4月から三重中央医療センターで勤務させて頂いている研修医の森茉莉です。当院は赤ちゃんからお年寄りまで、たくさんの方々の健康を預かる病院であると聞き、少しでもお力になれば、と思い就職させて頂きました。未熟者ですが、頑張ってお勉強していくので、病院でお会いした際にはよろしくお願いたします。



# 我が故郷

## 津・美里

私の両親は津市に合併する前の安芸郡美里村生まれの美里村育ちなので両親や私は生粋の美里村民であると自負しています。

美里町には経ヶ峰と呼ばれる山があります。

津地区の校歌などにもよく使用されているので名前だけでも耳にした事がある方がいるのではないかと思います。人魚の肉を食べて不老不死になった八百比丘尼の出身地説や山頂に大般若百巻が埋められたなど色々物語がある山です。

経ヶ峰は標高八一九mで斜面の勾配もきつくなき登山初心者でも気軽に登れます。

私の生家はその経ヶ峰の中腹にあります。

毎年地元では経ヶ峰ハイキングを企画しており

私も両親や地元の方達と一緒に登っています。

そんな自然豊かな美里町に住んでいる私の父親

が二〇一四年に当三重中央医療センターで腹部大

動脈瘤の手術をして頂きました。そして母親も外来

通院させていただいています。

私が当病院の臨床工学技士として

働かせていただいている際にも美里町

出身の患者様をよく見かけます。同郷

の方々とおふれあう度に、当病院が美里

町にとってなくてはならない存在になっ

ていると実感しています。

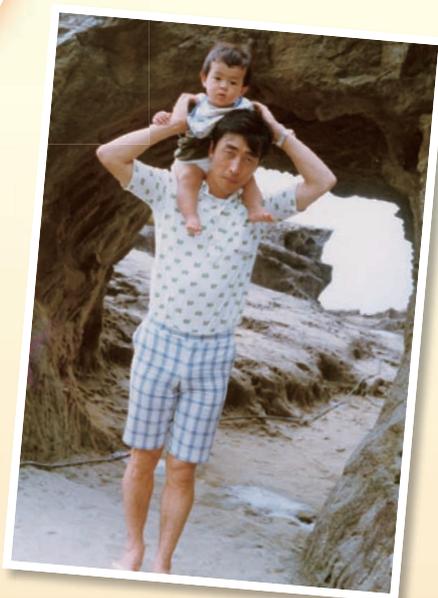
美里町の為にも地域医療の発展の為に

も万里一空の思いで頑張っていきたいと

思っています。



臨床工学技士  
横山 奉洋



## 輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外にも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

がん看護専門看護師 中村 めぐみ

こんにちは、私は緩和ケアチーム、がん相談支援センターで勤務しております。この三重中央医療センター（旧三重中央病院）の開院と私の看護師人生のスタートは同じでした。気が付けば、もう十年も前のことになるのですね。

私は、母が大腸がん・すい臓がんを患ったことをきっかけにがん看護に関心を持ち始め、がん看護に従事し、昨年12月に「がん看護専門看護師」の資格を取得しました。

「がん看護専門看護師」の役割を一言で申しますと、「がん患者さんの身体的・精神的な苦痛を理解し、患者さんやそのご家族へ“よりよい生活

を送るため”の視点を持ち、質の高い看護を提供すること」です。

私が日頃心がけていることは、「がん患者」として人を見るのではなく、『その人らしさ』を知るようにお話を聴かせて頂くことです。そうすることで『その人』の人生に触れ、『その人』に必要な看護を見つけるきっかけとなります。

がんと共に生きる患者さんやご家族の『その人らしさ』を大切に日々がん看護に従事していきたいと思っています。

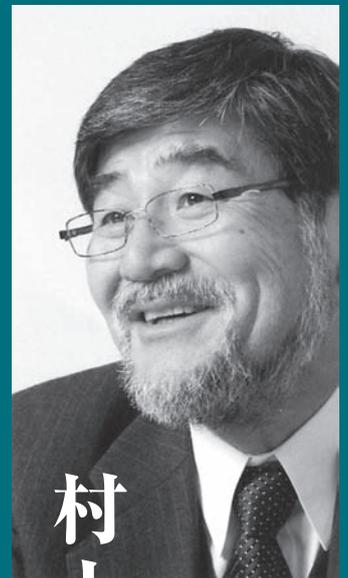


### 「里山こころの便りー柵原の窓から」

#### 第3話 嗜癖（アディクション）とは

人の行動の多くは習慣で成り立っています。車の運転も習慣的にハンドルを操作しているといっても過言ではありません。習慣（癖）といえば「爪をかむ癖」など悪いイメージが先行しますが、大多数は私たちの行動を円滑に進めるためのものです。しかし悪い習慣が身につくと「嗜癖行動」（アディクション）といわれています。同じ意味で依存という表現もよく耳にします。飲酒が習慣的となり、さらに溺れてコントロールできない、頼りきった状態がアルコール依存です。習慣的に飲酒する間に脳機能の質的な変化が起こっていると考えられています。依存を形成する薬物は覚せい剤や大麻に限らず、ある種の睡眠剤や抗不安剤、咳止めシロップなど違法薬物、常用薬、市販薬に限らず存在します。

また繰り返し行う行動にギャンブル依存があります。ギャンブルに熱中して囚われているときの脳機能はアルコール依存のそれと同様な変化を起こしています。アメリカの診断分類DSM-5ではアルコール依存、薬物依存と同様にギャンブル依存を疾病と認定し、依存という表現ではなくアディクションという表現を使用しています。習慣的な行動で、ネット依存など行動に特化したアディクションも話題を集めています。病気の仲間に入れるかの過渡期的な診断です。次号からアルコール、薬物、ギャンブル依存についてその成り立ちと回復にお話します。



村上 優

柵原病院  
院長



シリーズ  
医療用語の  
基礎知識  
15

病院職員が何気なく使用している用語で、普通にはあまり馴染みがない医療用語を分かりやすく解説します。

## 「DMAT」

先日、ニュースで「平成28年4月14日午後9時26分ごろ、熊本県内で震度7を計測した地震を受け、厚生労働省は同日午後10時31分にDMAT派遣要請を行いました。」とありました。

さて、DMATとは何のことでしょう？

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) は、直訳は災害医療支援チームで大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことであり、医師、看護師、業務調整員（他の医療職や事務職員）から構成されています。歴史は浅く、2004年の中越地震後2005年に厚労省が正式発足させました。日本DMATの事務局は、独立行政法人国立病院機構災害医療センター内で運営しています。

この津地域で大きな地震が起き、津波に襲われた際は、一体、どうなるのでしょうか？

当院の立地場所は、M8.7の地震による津波が発生したとしても、津波は届かないと言われていました（津市危機管理部の津波浸水予測図より）。また、高速道路のインターも近く、アクセスも良いため、まさに災害医療の中心（センター）として、機能することとなります。

当院にもDMAT資格を持った人材は複数在籍し、久居・一志地区医師会、津地区医師会、歯科医師会、薬剤師会、津保健所、津市、津市消防本部等と共同で毎年大規模災害対応訓練を実施して、まさかの時に対応できるよう備えております。

東日本大震災の時には、DMATによる急性期対応とは別に、国立病院機構の災害医療班として当院も支援に行きました。私は当時、静岡医療センターから現地に派遣され、当院の災害医療班と交代で引き上げていきました。今、その病院に勤務しているなんて、とても不思議な気分です。

平成28年熊本地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

また、皆様におかれましては、再度、避難場所や連絡方法などをご確認のうえ、万が一に備えていただきますようお願いいたします。

また次号でお会いしましょう！

事務部企画課 専門職 正田 長彦（まさだ ひさひこ）



## 当院への「寄付金」について

（趣意）

当院では、皆様より広く寄付金を受け入れており、教育研修や臨床研究のさらなる充実、ならびに患者様の療養環境の改善にも役立させていただいております。

今後とも、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

（税制上の優遇措置について）

当院は「特定公益増進法人」に指定されているため、当院にご寄附なされた個人又は法人は税制上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

（お問い合わせ先） 担当：事務部 企画課 業務班長

電話：059-259-1211（内線 1211）

# 出前！市民公開講座報告

## 第103回 米津北自治会

日時：4月13日(水)  
 講演：「くすりと栄養の」 薬剤師 山本高範  
 「治験でお・も・て・な・し」  
 治験コーディネーター 中尾貴子

今年度も自治会の方々からたくさんご注文いただきありがとうございます。

今年度も出前！市民公開講座をよろしくお願いたします。



## 第105回 松菱百貨店

日時：4月15日(金)  
 講演：「脳梗塞 ～予防から治療まで～」  
 脳神経外科 種村 浩医師

大盛況！約150名の方にお越しいただきました。

種村先生のお話はとても分かりやすく勉強になることばかりでした。



### お知らせ

4月より松菱様のフロアをお借りして「出前！市民公開講座」を開催させていただくこととなりました。たくさんの方にお越しいただき誠にありがとうございました。しかしながら、準備不足等があり皆様にはご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。また、ご要望のありました講演資料は地域連携総合相談支援センターにおいて準備させていただいております。是非お立ち寄りください。（1番窓口でお声をかけていただいても結構です）次回も皆様にお会いできますよう努力してまいります。

## 「クローバー友の会」 会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

### 三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構  
 三重中央医療センター  
 クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5  
 TEL 059-259-1211 内  
 地域医療連携室

国立病院機構  
 三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。  
 講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。  
 (スタンプ数による特典は別途ご案内いたします。特典は変わることがあります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員証  
 住所 \_\_\_\_\_  
 氏名 \_\_\_\_\_  
 電話 \_\_\_\_\_

### 編 集 後 記

本号のテーマは「はじめまして」。連相したのは昭和の名曲「こんにちは赤ちゃん」…♪ こんにちは 赤ちゃん あなたの笑顔 こんにちは 赤ちゃん あなたの泣き声 そのちいさな手 つぶらな瞳 はじめまして わたしがママよ ♪」…懐メロですが、温かくて当院の周産期医療にはピッタリ？

次に浮かんだのは「一期一会」…人生は出会いと別れの連続、一生に一度かもしれないひとつの出会いを大切にということでしょうか。まさに病院においては、日々、初診患者様との出会い、そして入院と退院の連続です。

三重中央医療センターは、これからも地域の皆様との「出会い」を大切にしながら、病む人の身になってより良い医療を行って参りますので、新しいメンバー共々、どうぞよろしくお願い申し上げます。

追伸) 私事になりますが、当院での3年間、たくさんの方々に出会い大変お世話になりました。ありがとうございました。(下中)

### 発行所

三重中央医療センター  
 院長 霜 坂 辰 一

三重県津市久居明神町2158番地5  
 TEL. 059-259-1211  
<http://www.hosp.go.jp/~nmch>

# ●●● 三重中央医療センター—連携医療機関紹介 ●●●●●

## 英 ク リ ニ ッ ク



三重中央医療センターを2006年10月に辞し門前で開院してから早や9年6か月が経過しました。開院してからも自分の守備範囲は変わらず、外科手術（全麻、局麻、外来手術）と胃内視鏡検査、乳癌検査（マンモグラフィー検査、超音波検査）を続けております。外科医でありながら取得しました内視鏡専門医の始まりは国立津病院で、ほぼ38年毎日こつこつ好きな胃カメラ検査を続けております。三重中央医療センターが発足した当時の院長指示によりはじめました乳腺疾患外来は、開院後もそのままの形で継続しております。市の乳癌検診の患者さんだけで毎年（9か月間で）1600人をこえるようになりました。また来院して乳癌と診断する患者さんは1年間で10人から30人と増加してきています。最近マンモ

グラフィーでの多発微細不整石灰化の発見に努めており、所謂さわってもわからない乳癌患者さんがたいへん増加しています。さて診断に困ったとき頼りになるのは目の前の三重中央医療センターであります。私の病院への紹介状は年間300枚をこえますが、すべての診療科の先生方に本当にお世話になっています。特に放射線科と消化器内科には多くの患者さんがお世話になり、また無理な予約電話でも極めて丁寧にこころよく対応していただく地域連携室の方々にも感謝しております。三重中央医療センターがなければ私のような弱小クリニックは存在できないと言えます。更に今後も、上記に加え、小さい黒子疣贅切除手術、緊急の怪我処置、禁煙外来などに努力していく所存です。

院長：佐々木 英人  
 診療科目：内科・外科・胃腸科・乳腺科・リハビリテーション科  
 住所：〒514-1101 津市久居明神町風早2090-1  
 電話：059-259-0808 FAX：059-259-0800  
 休診日：木曜日・日曜日・祝祭日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：30	○	○	○	△	○	○	△
15：00～18：00	○	○	○	△	○	△	△

△土曜 14：00～17：00

## 医療法人社団 奥田 医 院



私が奥田医院に勤務して20年が経ちました。当院は久居旧市内、住宅街に位置するため、長く通院されているご近所の患者様も、時流に乗り、高齢の方や独り住まいの方が目立つようになりました。従って、診療内容も高齢者慢性疾患が中心ではありますが、転倒による外傷、また、熱傷、蜂窩織炎など小外科処置も少なからず対応しています。やはり、健康不安の悩み相談、病気や検査結果についての質問も多く、時間の許

す限り耳を傾け、真摯に説明、アドバイスをするように心掛けています。

例年の癌健診においても、健康管理上、胃内視鏡検査の有用性理解が高まり、年配の方の受診率が徐に増加しています。更なる検査や治療において、三重中央医療センター地域連携システムを最大限利用させて頂き、各科先生方、スタッフの方々には、深く感謝致しております。

院長：山本 純二  
 診療科目：内科  
 住所：〒514-1136 津市久居東鷹跡町261-3  
 電話：059-255-5264 FAX：059-256-7838  
 休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	△
14：00～18：00	○	○	○	△	○	△	△

## 特定医療法人 暁純会 榊原温泉病院

ホームページ：http://www.sakaki-hosp.jp/



当院は、昭和57年3月に津市（旧久居市）榊原町に三重県下で初めての温泉病院として開設いたしました。

当地区は、関西の軽井沢と呼ばれている青山高原の麓に位置し、清少納言ゆかりの三大名泉の一つに数えられる榊原温泉が湧きいで、温泉療法にとって天賦の地であります。

この恵まれた自然環境のもとに、落ち着いた雰囲気と明るさをモットーに最新の医療機器を整え、内科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科を主体に、患者さんに優しい最良の医療の提供に努めており

ます。

近年、高齢化社会の到来に伴い、これら疾患の増加と急性期から慢性期への疾患構造の変化への対応が迫られています。当院でも、回復期リハビリテーション病棟を開設し、患者さんの一日も早い機能回復、更に社会復帰に向け全職員一丸となって、より良い医療環境の提供に務め、理想の病院づくりを目指しております。

理事長：武内 秀之  
 院長：野田 悦生  
 診療科目：内科・整形外科・脳神経外科・歯科・歯科口腔外科・神経内科・泌尿器科・眼科  
 住 所：〒514-1293 津市榊原町1033番地の4  
 電 話：059-252-1111 FAX：059-252-0522  
 診療時間：9：00～17：00（外来受付は11：00まで）  
 ※詳しくはホームページをご覧ください。  
 休 診 日：日曜・祝日・水曜・年末年始（12/31～1/3）・開院記念日（4/24）

## 天 野 医 院



当院は、医科歯科併設の診療所で、平成9年10月に久居中学校の東側で開業しました。一階が胃腸科、外科、内科、肛門科を標榜する診療所、二階が歯科診療所となっています。医科診療所では、胃腸科として上部消化管を対象に内視鏡検査等を行い、外科的には単純な切創や擦過創の処置や局所麻酔で処理可能な小手術あるいは痔核、裂肛に対し保存的治療を行っています。また、内科的には、感冒等の急性疾患や生活習慣病などの慢性疾患に対して、一般診療を行うと共に、市の特定健診やがん検診にも協力させていただいております。さらに、午前と午後の診療時間の間を利用して、訪問診療も行っております。

三重中央医療センターの先生方には専門的診療や検査あるいは緊急を要する患者さんを多数引き受けていただ

いておりますが、当院は今後も、三重中央医療センターをはじめとする、この地区の病院や診療所の先生方と連携を密にし、出来る限り地域医療に貢献していきたいと考えております。

院 長：天野 一之  
 歯科医師：天野 昌子  
 診療科目：胃腸科、外科、内科、肛門科、歯科、矯正歯科  
 住 所：〒514-1311 津市久居西鷹跡町475-3  
 電 話：(1F)059-259-2001 (2F)059-259-2002  
 F A X：059-259-2003

### (1F)胃腸科、外科、内科、肛門科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9：00～12：30	○	○	○	○	○	○
15：30～19：00	○	○	○	△	○	△

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日

### (2F)歯科、矯正歯科(要予約)

診療時間	月	火	水	木	金	土
9：00～12：30	○	○	○	△	○	○
14：00～17：30	○	○	○	△	○	△

休診日：木曜、日曜、祝祭日

△土曜は17：00まで

